

寺小屋研修会の募集

こんもりと咲く紫陽花が七変化を見せる季節、
皆様、いかがお過ごしでしょうか。
雨が降ると、深い緑で覆われた境内で
純白のクチナシの花の香りが より際立ちます。



さて、毎年恒例の夏休みの企画として
岐阜西教区青年僧の会では寺小屋研修会を開催しています。楽しい出会いと感動、
そして友情と思いやりの心が育まれることを願って、たくさんの若い和尚様方が
寝具の準備や食事の準備、レクレーションの準備をして
皆様のご参加をお待ちしております。

期日：平成30年7月26日(木)～27日(金)
会場：少林寺(しょうりんじ)
各務原市那加新加納町2104

資格：小学生3年生～中学生
会費：3,000円(一人) 当日徴収となります。
期限：平成29年7月10日まで
(定員50名になり次第、募集締切となります)

お申込書は大智寺にありますので、
お気軽にお声かけ下さい。

持ち物

- ①洗面用具 ②タオル・タオルケット
- ③ハンカチ・ティッシュ④ラジオ体操カード ⑤常備薬
- ⑥着替え・パジャマ ⑦帽子 ⑧軍手
- ⑨筆記用具 ⑩健康保険証の写し ⑪雑巾一枚



大智寺だより

平成30年水無月
Vol.96

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話：058-229-1532

《Mail》
hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺 検索

<http://www.daichi-ji.com>

アオバズク 来山!

頭から背にかけて黒褐色の羽毛で覆われ、
下面の羽毛は白く、褐色の縦縞が入る、
カッコイイ姿のアオバズクが今年もお寺に来てくれています。



毎年この時期に日本へ来るアオバズクですが、
抱卵期間は約25日、巣立ちまでの日数は約28日といわれています。
樹洞に巣を作り、1回に2-5個の卵を産むそうです。
抱卵はメスのみが行い、オスは見張りをしたりメスに獲物を運んだりします。
お寺では山門の辺りでオスが見張りをしている姿を観察することができます。
雛は巣立ち後、徐々に営巣木から周辺の林へ移動し離れていってしまいます。



鳴き声は基本的に「ホッホッ、ホッホッ」と二回ずつで、
規則正しいので分かりやすいアオバズク。
毎年楽しみに訪ねて下さる方がいる中、
こちら「ほっ」としています。

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去の紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

5月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

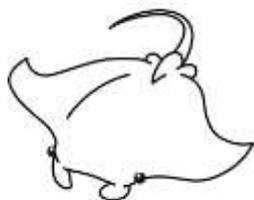
平成30年度 第55回
岐阜西教区 花園大会

毎年、岐阜西教区の臨済宗妙心寺派では「花園大会」を開かれています。この大会では岐阜西教区の檀信徒の方々が一同に集まり、お釈迦様の教えにそって生活していくことを再確認し、今生かされていることに手を合わせます。今年、6月8日（金）午前10時～15時まで長良川国際会議場にて開かれます。



今回は、今年度より妙心寺派管長に就任された小倉宗俊老大師をお迎えし、基調講演をいただきます。また、午後は特別公演として音楽法話バンド「一期一會」による演奏をお聞きいただきます。このバンドでは、妙心寺派のお坊さん4名が楽器を用いて唱歌や童謡、ご詠歌などを詠い、各地で生きる喜びを分かち合う活動を続けています。一年に一度のこの機会、皆様と一緒に楽しく過ごすことができると願います。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ③7

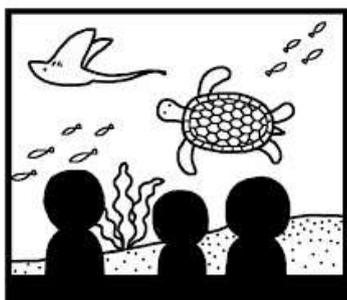
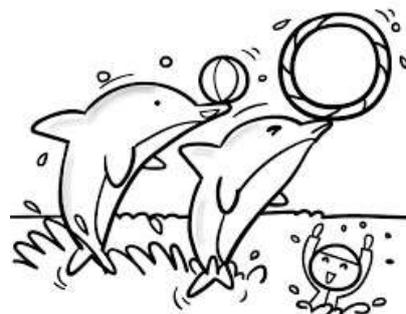


「お墓に字を彫り加える時って、お経を讀んでもらうんやよね？」

もう既に建っているお墓に、亡き方の戒名や享年など彫り加える時にはまず「精抜き」のお経をお唱えし、その後で墓石屋さんの作業が始まります。墓石だけでなく、お位牌に彫り加える場合も、同じでまず「精抜き」のお経をお唱えし、その後で仏壇屋さんの作業が始まります。

さて今年も、お墓の前で蛍飛び交う季節がやってきました。「そこ踏むな タベほたるの みたあたり」という橘以南の句があります。

日中、蛍を見ることはできませんが、タベは確かにこのあたりにいたから、気をつけてよという優しい気持ちが伝わってきます。目には見えないけれど、真剣に蛍を愛おしんでいます。



草葉の陰に見え隠れしている蛍、大切な亡き方に重なります。お墓は愛おしい家族が眠っている場所です。「そこ踏むな」そこらの石ころと一緒にしてくれるな、これは大切な家族の墓石なんだよ。この思いが「精抜き」の読経につながるのではないのでしょうか。橘以南という名前にあまり馴染みはないかもしれませんが、江戸時代後期の禅僧、良寛さんのお父さんです。慈悲深い良寛さんの原点を見る思いです。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

④④

「 ^{ひと}人の善からぬ罪過を ^{つみとが}仮令我身たといわがみに受るとも ^{うく} 」

私をののしった、私を笑った、私を打ったと思う者には、
怨みは鎮まることがない。
怨みは怨みによって果たされず、忍を行じてのみ、よく怨みを解くことを得る。
これ不変の真理なり
(法句経)

「忍」という字をよく見てみると、大切な自分の「心」の上に恐ろしい「刃」があります。
怨みに対し、相手に対し、振り上げた「刃」
振り下ろせば実は自分の「心」を打ち砕くものかもしれません。
自分の「心」に振り下ろされる寸前で「刃」を止める、それが「忍」ともいえそうです。

「愉快に暮らすことこそ、最高の復讐である」(スペインの格言)といます。
豊かに暮らす、生きる智慧を教えてくれるのが宗教です。
どんな時も仏様と一緒に生きていければと思います。

カタクツムリ

梅雨を迎えるとお寺の境内ではカタクツムリ
が悠々と這い始めます。いいおばさんも庭で
しゃがむことが多くなります(笑)

かたつむり どこで死んでも わが家かな
(小林一茶)

大きな殻をかつぐ姿を見ると、いつもこの
句が優しい雨のように心を潤してくれます。
どこでどう過ごしていても「そうだ、自分は
仏様の手の上にいるんだ」という安心感を思
い出させてくれます。慌しく日々追われて
いると、ついそのことを忘れがちになります。
殻を背負っていることを忘れて、自分一人
歩いている気になっているカタクツムリよう
です。でも、ちょっと指でいたすらをする
と殻の中に隠れてしまう、具合が悪くなり助
けてもらいたい時だけ頼ってしまいます。それでも
仏様の手は、我が家のようにカタクツムリの殻
のように、ちゃんと迎え入れてくれます。
カタクツムリには、とても親近感が湧きます。

「目に見えないものを信じる」これほど
毎日欠かさず誰もがやっていることはありま
せん。寝ても心臓は動いてくれていると信じ
ています。朝には目が覚めると信じ切ってい
ます。意識しない程おまかせしっぱなしです。

だから、失敗だの成功だの小さいことなど
気にせずに堂々と構えていよう、そう独り
静かにうなずいてまた歩き始める雨の散歩
が、私は好きです。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

色鮮やかな そら豆のリゾット

- ① そら豆はさやから出し、熱湯で約2分茹でて冷まし皮をむいておく。
- ② たまねぎはみじん切りにして焦げつかせないように炒める。
- ③ コンソメキューブ2個と水600ml(分量外)を加え、
コンソメが溶けたらそこにご飯を入れる。さらに牛乳も加えて煮る。
- ④ さらにチーズを加え煮最後に塩・胡椒で味を調える。
- ⑤ そら豆を加え、お好みでパルメザンチーズもかけて出来上がり。



そら豆の量も玉ねぎの量も適当です。だいたい炊いたご飯、お茶碗2杯分くらいの量です。
チーズとそら豆の相性が良くて、くせになるお味です。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

6月24日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

5月写経会 備忘録

さわやかを乗り越えて夏日となった5月の写経会。落語「子ほめ」は赤ん坊を褒めてお酒をご馳走になろうという魂胆の主人公が登場します。でも上手に褒められず、お世辞も言えず、散々です。でも仏教的に読解すると、とてもわかりやすい仏様の眼が見えてきます。私たちの年齢は「まだ半分」若いですね(笑)



お釈迦様が生きていた頃
あんな人、こんな人

第十五話 「掃除で悟りを開いたチューダパンタカさん」



チューダパンタカさんは、
ときどき自分の名前すら忘れてしまうほど物覚えの悪い人でした。
とうとう自分の愚かさを嘆いて、仏弟子をやめようとお釈迦様のもとを訪れます。
「お釈迦様、私はあまりに愚かなので、もうここにはいられません・・・」

お釈迦様は静かに言いました。
「自分を愚かだと知っている者は愚かではない、自分を賢いと思いがっている者が、愚か者である
おまえの一番大好きなことはなんだね？」

「はい、私はそうじが好きです」
「そうか、では『塵を払い、垢を除かん』と唱えながら一生懸命掃除に励みなさい」
嬉しくなったチューダパンタカさんは、お釈迦様に言われた通り
一年、二年、五年、十年、二十年と、ひたすらに掃除をやり、ついに悟りを開きました。

お釈迦様は言いました。
「悟りを開くということは、なにもたくさん覚えることでは決してない。
たとえわずかなことでも、徹底して行うことが大切なのだ。」

ローマ帝国第一代の皇帝アウグストゥスが愛した言葉が3つあります。
「ゆっくり急げ」「完璧にやってこそ早くやったことになる」「大胆な指揮官より安全第一の指揮官」
チューダパンタカさんはこれをそのまま当てはめたような仏弟子でした。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。